

ストレングスファインダー

アメリカの世論調査と組織コンサルティングのギャラップ社が「人は自分の弱みを改善するよりも、自分の強みに意識を向けそれを活かすことで最大の能力を発揮する」という考え方に基づき開発したツールです。今回開院にあたり、自身のことを把握するために実施してみました。結果に基づいた単なるわたしのコメントです。

最上志向

”最上志向という資質を持つ人は、強みを利用して、平均的ではなく最高の水準を、個人ないしは集団において追求します。単なる強みを最高レベルのものに変えようとします”
：一緒に仕事をすることに決めたかたとは、お互いの得意分野を最大限に適合させる。個人の資質・長所を見出して、それをさらに良くできるような環境としたいと思っています。

個別化

”個別化という資質を持つ人は、一人一人が持つユニークな個性に興味をひかれます。異なるタイプの人たちの集団をまとめ、生産性の高いチームを作ることに長けています”
：眼科医療・研究職・音楽を通じて多くのタイプの人に慣れてきた。今回開業準備にあたりたくさんの人と仕事することになったが、直感に基づき一緒に仕事するかたを決めた結果良い状況になった（内装設計・デザイン・医療器械選定・電子カルテ・その他IT関連・薬剤関係・税務・労務・広告等）。

適応性

”適応性という資質を持つ人は、「流れに沿って進む」ことを好みます。「今」を大切にし、それぞれの時点で進む方向をひとつずつ選択することにより、将来を見極めます”
：まずやってみる、ことを大切にしている。「直感」は今まで長く考えてきた結果に基づくものと思う。その結果が「今」で、今の状況からできることをやってみるの繰り返し「流れに沿って進む」ことでしょうか。。自分が好きなことをしていると、賛同してくれるかたが次々に現れたり、状況が好転する。

未来志向

”未来志向という資質を持つ人は、未来がどのようなものかについて考え、そこからアイデアを得ます。未来についてのビジョンを語ることで、人々を高揚させます”
：大事なことは静かに思うタイプではあると思いますが、いつもだいたい先か少し先のことを考えています。過去は最低限しか気にせず、これからどうできるかを考える。未来志向を上手に伝える方法を考えてたい。

学習欲

”学習欲という資質を持つ人は、学習意欲が旺盛で、常に向上を望んでいます。特に結果よりも学習すること自体に意義を見出します”
：すべてを覚えなれないいけないテスト勉強は苦手ですが、好きなこと・したいことへの思いが強ければ掘り下げていく勉強は好きでいくらでもできる（眼科臨床・免疫学研究・ボストン留学・演奏等）。その結果さらに多くのことが広がる。